

# もっと 知ってほしい！ 大町町花火大会

8月13日(土)、3年ぶりとなるお盆の花火が夜空を彩りました。

今回の特集では、私たちが魅了した花火がどのように作られているのか紹介します。

## 花火にまつわる小話

### 花火の起源

花火の起源は、江戸時代(1732年)享保の大飢饉だと言われており、飢餓の犠牲者の慰霊や疾病退散を祈願するため、翌年に東京都の隅田川で花火を打ち上げたことが始まりとされています。

今回の大町町花火大会では、先祖の御霊供養と感謝の気持ち、そして、新型コロナウイルス終息の願いを込めて、お盆に花火を打ち上げています。

### 花火の重さと大きさ

花火玉の大きさは2.5号玉から最大で40号玉(4尺玉)まであります。1発に仕込む内容や細工が充実できる玉が5号玉以上で、それ以下のサイズは主に玉数を多く打ち上げる際に使われます。

大町町花火大会で打ち上げられる花火玉で最も大きいものは重さ4.8キロ、外径約23センチの8号玉になります。打ち上げると直径250メートルもの大きさの花火が広がります。

### 大町町での花火のはじまり

大町町で初めて花火大会が開催されたのは、1976年で、当時は5000人もの観客が町民グラウンドに集い、盆踊りに興じた後、花火を鑑賞していました。

2005年以降、財政難を背景に盆踊りのみの実施となっていました。2016年の町政施行80周年記念として開催した「ふるさと大町納涼まつり」で12年ぶりとなる花火大会を実施しました。

それ以降、ふるさと応援寄附金を活用して現在まで継続的に実施しています。

## 花火師に聞いた 花火への思い

株式会社唐津煙火  
代表取締役社長

木塚 博治 さん

## 今年の夏は上を向いて

いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えずうつむきがちな日常だからこそ、つかの間でも顔を上げて、花火を見た皆さんが、少しでも楽しんでもらえればという思いを込めて花火を上げました。

打ち上げた花火を見ていただいた皆さんに喜んでもらうことが、花火師として一番やりがいを感じる瞬間です。